

# アパグループ

## 名古屋駅前に大型ホテル開発計画を発表

アパホテルネットワークとして全国最大の 436 ホテル 72,803 室（建築・設計中、海外、FC、パートナーホテルを含む）を展開する総合都市開発のアパグループ（本社：東京都港区赤坂 3 丁目 2-3 代表：元谷外志雄）は、名古屋駅前に名古屋市内 6 棟目のホテル開発用地を取得した。取得会社はアパホーム株式会社となる。

本案件は、JR各線、新幹線、市営地下鉄東山線・桜通線などが乗り入れるターミナル「名古屋」駅のJR太閤通口より徒歩 4 分、ビジネスやレジャーに適した駅前立地となる。2027 年のリニア中央新幹線の開業も控え、各エリアにて再開発等が活発化し、今後更に観光客やインバウンドなどの増加が見込まれる中、特に発展著しい名古屋駅周辺エリアでの出店を決めた。なお、本案件地は現在店舗として運営中であり、20 ヶ月間賃貸で運用後、14 階建・318 室のホテル開発に着手していく。案件地の概要は下記の通り。

### 【用地概要】

所在	地番	公簿面積	権利の種類
名古屋市中村区則武 1 丁目	501 番 1 他	808.33 m <sup>2</sup>	所有権

### 【計画概要】

ホテル名(仮称)	規模	延床面積	客室数
アパホテル(名古屋駅前)	14 階建	約 5,800 m <sup>2</sup>	318 室

名古屋市内では、アパホテル(名古屋栄駅北) (350 室・平成 30 年 9 月開業予定) が建築中であるほか、今年 6 月にアパホテル(名古屋栄東) (全 150 室) が開業、アパホテル(名古屋錦) EXCELLENT (全 250 室)、アパヴィラホテル(名古屋丸の内駅前) (全 254 室)、アパホテル(名古屋栄) (全 400 室) が高稼働中であるが、更なる需要の獲得を目指し今回の計画に至った。本計画により、**名古屋市内のアパホテルは 6 棟・1,722 室となる。**

### 【アパグループ】

アパホテルネットワークとして全国最大の 436 ホテル 72,803 室(建築・設計中、海外、FC、パートナーホテルを含む)を展開しており、年間宿泊数 1,252 万名(平成 28 年 11 月期末実績)、アパカード(同社発行のポイントカード)会員の累積会員数は 1,300 万名を突破している。また、アパグループは 2010 年 4 月にスタートした「SUMMIT 5(頂上戦略)」では東京都心でトップを取る戦略を展開、東京 23 区内の直営ホテル数のみで 67 棟・17,056 室(建築・設計中を含む)を達成した。今後もアパグループはさらなるブランドアップを図りながら、マンションや総合都市開発事業を展開し、2015 年 4 月からスタートした「SUMMIT 5-II(頂上戦略)」では、東京都心から地方中核都市へと拡大し、高品質・高機能・環境対応型の「新都市型ホテル」のコンセプトに磨きをかけ、2020 年 3 月までにパートナーホテルを含むアパホテルネットワークとして 10 万室も目指す。

■お問い合わせ先 ※写真データ等必要な場合はメールにて送信します。

アパグループ東京本社 代表室

住所：東京都港区赤坂 3-2-3

電話：03-5570-2113 FAX：03-5570-2138

E-Mail：[hishoka3@apa.co.jp](mailto:hishoka3@apa.co.jp) URL：[www.apa.co.jp](http://www.apa.co.jp)